

4 青果棟

地元で採れた野菜を中心に、季節ごとにさまざまな野菜や果物が入荷されています。日本各地はもとより世界中から農産物が届きます。

施設面積4,350㎡
年間の取扱量は8,494トン。金額にすると15億円(平成19年度)

入荷ベスト5(平成19年)

野菜 1位 ニンジン 2位 ダイコン 3位 キャベツ
4位 サツマイモ 5位 タマネギ
果物 1位 バナナ 2位 グレープフルーツ 3位 スイカ
4位 ミカン 5位 パイナップル



新鮮な野菜や果物が山積みになっているのを見ると、つい買いたくなってしまいかも。まさに市民の台所!



仲卸業者・買受人は、大きさや品質、鮮度などを厳しくチェックし、値段を検討。いよいよ競りの開始



仲卸業者は競りで落とした野菜を市場内の自分の店に運ぶ



旬の野菜が所狭しと並ぶ市場内。小売店の人たちが買いに来る

水産

インタビュー

青果



安全・安心を届けるために 根本 恵造さん

(大都魚類株式会社成田支社)

わたしたち卸売業者は、港から水産物を市場に入荷し、仲卸業者に卸売っています。水産物の種類によって競りが行われるものと、卸売業者と仲卸業者の相対の交渉で値段が決まるものがありますが、マグロの競りは毎日行われています。競りでは、仲卸業者が売り場に並んでいるマグロの品質を見て値段を検討し、その品質に合った値段が決まります。そのため仲卸業者にマグロの品質が分かるように、尻尾を切って赤身や脂の部分が見えるようにし、重さ、採った漁船の船籍や漁場を表示しておかなければいけません。市場には消費者によいものを適正な価格で届けるという役割があります。食の安全が求められるようになってきた今、わたしたち市場関係者はそのことを特に認識して、仕事をしていきたいと思っています。



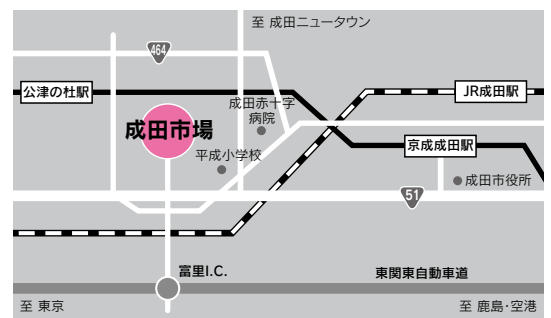
地元食材にもスポットを 小椋 正猛さん

(株式会社V・F成田)

青果部では多くの品物は売れ残りのないよう、お客様の注文を受けてから仕入れています。そこで仕入れた品物は競りではなく、わたしたち卸売業者とお客様で値段を交渉して売買を行う相対売りという方法で売っています。競りをするのは地元農家から市場で売ってほしいと委託を受けた品物がほとんどで、その時期の旬の野菜や果物です。その農家も後継者不足によりやめていくところが増えて地元食材の入荷数が年々少なくなり、少し寂しく思っています。はやりのフルーツもいいですが、地産地消が進められている今、消費者の皆さんにもっと地元食材に関心を持っていただきたいです。数が減ったとはいえ、市場には普段見られないくらいたくさんのお店の旬の食材があります。一度見学に来てみてください。

市場に行ってみませんか

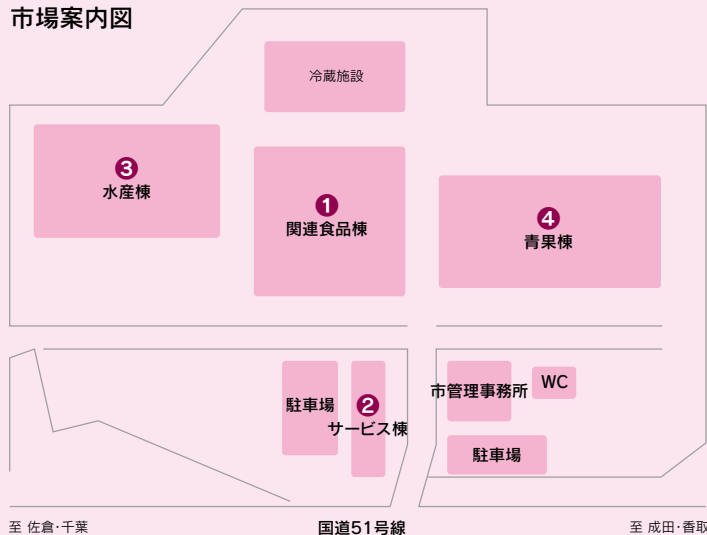
生産者と消費者を結び、安心で安全な食品を市民に届ける役割を担っている卸売市場。土曜日は、市民の皆さんに市場について知ってもらうため、市場内の関係者で協力して、競り場などの一部を除いて開放しています。時間は午前7時～11時ごろです。一度、見学や食事、買い物に行ってみませんか。※くわしくは卸売市場(☎23-0021)へ。



ここは市民の台所!

成田にも卸売市場があるのをご存じですか。ここ成田市公設地方卸売市場では全国各地はもとより、成田国際空港の利便性を生かして世界各国から食料品などを集荷・卸売りしています。生活に欠かせない食料品を適正な価格で豊富に供給し、市民の食生活の安定を図るといふ役割を担う市場。そんな知られざる市場の様子を紹介します。

市場案内図



市場には品物が所狭しと並ぶ建物が4つあります。そこにはたくさんの食材を取りそろえた店が軒を連ねています。

① 関連食品棟

入っている店舗は、業務用食品や水産加工品などの食料品店と厨房機器などの食品営業関連用品店など、およそ50軒。土曜日は一般の人たちの買い物でもにぎわいます。

② サービス棟

市場で働く人たちのために、新鮮でボリュームのあるメニューをそろえた食堂が数店入っています。一般の人でも利用できます。

③ 水産棟

千葉県沖で水揚げされた近海魚のほか、全国各地の港から旬の新鮮な海産物が入荷します。成田国際空港の利便性を生かして世界各国からも魚が空輸されてきます。

施設面積は5,315㎡
年間の取扱量は10,444トン。金額にすると89億円(平成19年度)

入荷ベスト5(平成19年)

生鮮魚介類	1位 カツオ	2位 ハマチ	3位 アサリ
	4位 サンマ	5位 マダイ	
冷凍魚介類	1位 マグロ	2位 サケ	3位 イカ
	4位 サバ	5位 マス	



午前3時ごろから市場は活気づく。卸売業者が全国の生産者から集めた品物がトラックで運ばれてくる



低温卸売場でのマグロの競り。売り手である卸売業者の呼び掛けに仲卸業者が指で値段を示す(手やり)



専用の電動のこぎりを使って、競り落としたマグロを小売店が買いやすい大きさに切断する



小売店が仲卸業者の店に品物を買ってくる。仲卸業者から買った品物が街へ運ばれ、皆さんの家庭へ